

四季
だより

ご
さん
だ
だ

新春号

2017
VOL.05

Contents [目次]

平成29年 大新年会	2P
看護部だより	3P
リハビリテーション科だより	3P
新任医師紹介	4P
平成28年度 東京都公開講座	4P
平成28年 五反田リハ学術成績	4P
医療連携室だより	5P
リハビリテーション医の独り言	6P
特別講演会	7P
院内旅行報告	7P
グループ病院紹介	8P
アクセス	8P

平成29年

大新年会



平成29年1月26日(木)、目黒雅叙園にて連携先の医療関係の方々、国会・都議会議員、地域の皆様などをお招きして、合計約440名の参加による開院後二回目の新年会を開催しました。日頃お世話になっている皆様と有意義で楽しい時間を共有することができました。

冒頭でNTT東日本関東病院院長の亀山周二先生より御挨拶を頂戴し、松谷院長からは、地域の医療機関への感謝の言葉や職員への慰労の言葉が述べられました。

各病棟の余興発表では、業務終了後に一生懸命練習を重ねた成果を発揮することができ、来賓の方々からクオリティーの高さにお褒めの言葉を頂戴することができました。

今後も職員一丸となり地域の皆様に安全で良質なリハビリテーション医療を提供できるようより一層の努力をしてまいりますので、御支援と御協力を賜りますようお願いいたします。



看護部だより



平成28年11月21日(月)～11月27日(日)に医療安全推進週間の活動を行いました。

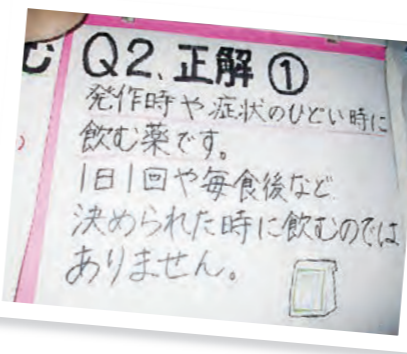
各部署が日々、安全のために取り組んでいることをポスターにし、1階ラウンジで展示しました。

ポスターの内容は部署によって様々でしたが、患者様、ご家族様、職員による投票を行い見事1位に輝いたポスターをご紹介します。

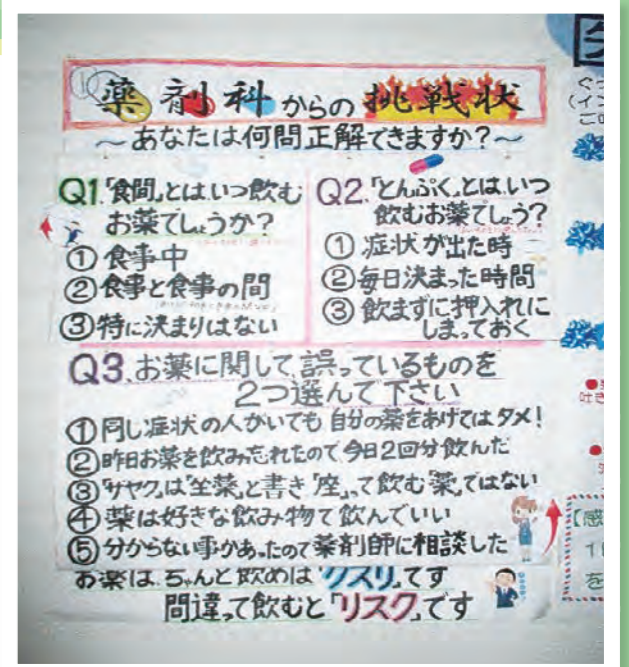
薬局 めくると答えが出てくるクイズ形式になっており、興味をひかれた方が多く、面会にこられた小さいお子様

にも人気があったようです。

投票にご協力いただきありがとうございました。



注) 医療安全推進週間とは、厚生労働省が平成13年に開始した「患者の安全を守るための共同行動(PSA)」の一環として、医療機関や医療関係団体等における取組みの推進を図り、また、これらの取組みについて国民の理解や認識を深めていただくことを目的として、設けられたものです。毎年度11月25日を含む1週間をこの推進週間の中心として、医療安全向上のため取組みを進めています。



リハビリテーション科だより

リハビリテーション科では、毎日のリハビリテーションに加えて入院生活の中で季節感を感じてもらうために季節ごとの催しを開いています。今回は各病棟で病棟スタッフと協力してクリスマス会を開催しました。クリスマスソングを歌ったり、ハンドベル演奏を行ない、患者様やご家族様に楽しんで頂きました。日頃のリハビリテーションとはまた違った雰囲気を楽しむことができた皆様とても満足されていました。

今後もこのような場を通じて職員・患者様・ご家族様と交流を図り、皆様にアットホームな環境を提供していければと考えています。



新任医師紹介



医師 横田 淳 内科 (よこた じゅん)

- 昭和53年 群馬大学医学部卒
- 東京大学医科学研究所 内科
- 国立がんセンター部長
- スペイン癌予知個別化医療研究所
- 上級グループリーダー

内科医としての経験を生かし、研究者としての探究心を持って、最善の医療を提供できるよう努めていきます。地元住民として地域の方々とのふれあいを大切にリハビリテーション医療に貢献したいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

平成28年度

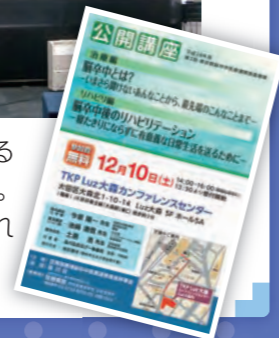
第2回 東京都脳卒中医療連携推進事業 公開講座

平成28年12月10日(土)、東京都脳卒中医療連携推進事業の一環として、区南部圏域脳卒中医療連携推進幹事会主催(品川区後援・事務局:荏原病院)の公開講座講演を、五反田リハビリテーション病院院長補佐 池崎清信先生が行いました。

当日は、100人規模の会場にて「脳卒中後のリハビリテーション～寝たきりにならず有意義な日常生活を送るために～」というタイトルのもと、ユーモアたっぷりの軽快なトークで来場者も魅了されている様子でした。

講演後の質問タイムでは、「回復期リハビリテーション病院という素晴らしい施設があるのなら、もっと早く知りたかった」「是非、病院を見学してみたい」という声もいただきました。

現在、講演をお聞きになった奥様のご主人が転院されリハビリテーションに励んでおられます。一般の方々の周知向上と連携先への営業強化を、あらためて強く感じました。



平成28年

五反田リハ学術成績

■学会発表

第32回 日本義肢装具学会学術大会 平成28年10月15日(土)～16日(日)

- 「当院における装具手帳の使用効果の検討」……………理学療法士 渡邊 恵利菜 他
- 「運動器疾患に対する免荷式トレッドミルトレーニングの効果の検討～歩行に対する影響に着目して～」……………理学療法士 木村 有里 他
- 「歩行時の上肢管理が座位balanceに与える影響～三角巾とオモニューレクサの比較～」……………理学療法士 廣田 雄也 他

第5回 日本ノルディック・ウォーク学会学術大会 平成28年9月17日(土)

- 「Nordic walking における即時効果の検討～座位balanceに着目して～」……………理学療法士 廣田 雄也 他

The 14th Young-Honam and Kyushu Neurosurgical Joint Meeting 平成28年11月12日(土)

- 「Professor Emeritus Masashi Fukui Memorial Lecture: Professor Masashi Fukui, Be Loved Mentor Had Taught and Granted True Friendship」……………院長補佐 池崎 清信

■論文投稿

2016 No.1 Journal of Nordic Walking No.1 2016

- 「片側NW pole使用の歩行に対する効果の検討～1本杖使用との比較～」……………理学療法士 廣田 雄也 他

■講演

- ① 平成28年度第2回東京都脳卒中医療連携推進事業公開講座……………院長補佐 池崎 清信
「脳卒中後のリハビリテーション～寝たきりにならず有意義な日常生活を送るために～」平成28年12月10日 東京
- ② 医学の友社脳神経外科看護セミナー シリーズ1(基礎編)、2(実践編) 東京、神戸、大阪、福岡
- ③ 医学の友社看護セミナー 学会・研究会での発表のコツ 東京、神戸

■著書

- ① 脳腫瘍治療学 金芳堂……………病院長 松谷 雅生(著)
- ② カタカナ英語で調べられる脳神経外科略語・用語集、第3版、医学の友社……………院長補佐 池崎 清信(監修)

医療連携室だより



「リハビリ」という言葉はよく耳にしますが、実際はどういうことをしていて、どんな種類があるのでしょうか?知っているようで知られていない「回復期リハビリテーション」についての情報や、ご家族のために知っておいて頂きたい内容や、数多い疑問を解決するための、ホームページができました!

カマチグループ
一般社団法人 巨樹の会
監修

「回復期リハビリテーション」 について 詳しいホームページができました!

スマホ版でも
見やすい!
わかりやすい!



回復期リハビリテーション.net

よりたくさんの方々に「回復期リハビリテーション」の情報をもっとご理解いただく事を目的としたサイトです。

<http://kaifukuki.net> 回復期リハビリテーション.net 検索

スマホ版は
こちらから▶



分かりやすいコンテンツで発信! ぜひご覧ください!!

■コンテンツ例

回復期の大事な数字

発症から 2ヵ月以内	入院できる期間 180日最長	1日最大 3時間リハビリ
病棟基準 3段階	スタッフ 9職種	スタッフと患者様 1.5:1
リハビリ実施 365日	在宅復帰率 85%	リハビリ療法 3種類

※のマークが付いているものは、カマチグループでの特徴的な数字です。

インターネット環境をお持ちでない方



回復期リハビリテーションとは何かを知っていただける本も作成しております。

未来をみつめる、安心と信頼のケア
カマチグループ巨樹の会の
回復期リハビリテーション

下記医療連携室まで
お気軽にお問い合わせくださいませ。

医療連携室(1階受付)

医療連携室の受付時間
9:00～16:30(月～金曜日)

03-3779-8826(直通)

リハビリテーション医の独り言

副院長 石川卓志



今回のコラムでは、リハビリテーションの治療対象について述べたいと思います。

まず申し上げたいのは、臓器別専門医療とリハビリテーション医療の違いです。医師の仕事は病気を治すことですので、まずは、病気の原因究明に努めます。それが判明すると、その原因除去に全力を注ぎます。総合病院では各専門医が分業して、臓器別・病態別にそれぞれ診断・治療を行っています。では、それ以外の部位はというと、無治療というよりむしろ「お大事に」といって安静臥床をさせることが行われてきました。急性期に安静は必要ですが、過度の安静は多くの場合、害になります。安静臥床1週間で筋力は20%低下するとされ、それを回復するのに3倍の期間を要すると言われます。また、骨折や手術後では損傷部位の回復に栄養を奪われ、局所の安静と合わさって更なる筋萎縮が進行します。これを廃用萎縮といいますがこれは筋力だけでなく、骨密度、呼吸循環、更には認知機能等様々な弊害をきたします(廃用症候群)。骨折や麻痺などで、起居困難になると結果として、前述の廃用症候群がどんどん進行してしまい、悪循環となります。早期リハビリテーション(以下「リハ」と略します)はこれの予防につきるといっても過言ではありません。

臓器別各科とリハ医療との違いは、治療する対象の違いです。リハでは病気・病巣を治療するのではなく、むしろ病巣以外の残存機能を有効に運用して行動・生活を再構築する医療です。よく、失われた機能を回復させる医療とされていることが多いですが、使える機能を再活用して日常生活の過ごし方をデザインし直すことで、早期から機能・体力の廃用を予防しながら生活レベルを向上させていくというのがリハの考えです。

発症間もない時期の患者様の心理としては、「元気な頃と比べてこんなに機能が落ちてしまった。」と嘆かれ、内向きになる方が大半と感じています。確かにそのお気持ちは大変よくわかります。ただ、患者様ご本人が行動していただかなければリハの効果を上げることはできません。ですから、「自分にはまだこれだけ使える機能が残っている。」というポジティブな気持ちに切り替えて頂くことが非常に重要なのです。できるだけそれを有効に活用できるように我々スタッフも一緒に頑張りたいと思います。

昭和大学病院 耳鼻咽喉科 木村百合香 准教授 特別講演会が開催されました。

平成28年12月8日(木)に昭和大学病院耳鼻咽喉科の木村百合香 准教授をお招きして、「嚥下障害診療における耳鼻科医の役割」という特別講演会が開催されました。

講演には、看護部・リハビリ科を含め、医療連携室や栄養科などコ・メディカル職員約80人あまりが参加し、有意義な時間を過ごしました。

なかでも、嚥下改善の手術についての誤嚥防止や機能改善についてメリット・デメリットを詳しくお話があり、みな患者様の今後のQOLを大切にしたいという思いで興味深く耳を傾けていました。

また、「むせない誤嚥」や咳嗽や食事時間の延長が嚥下障害の兆候である事が解り、実際の場面での観察にいかしていきたいと思います。



北陸新幹線で行く歴史と美食の街 金沢旅行/ 院内旅行報告

「北陸新幹線で行く」歴史と美食の街 金沢
フリータイムに行ってきました。

平成28年12月11日(日)～12月12日(月)に1泊2日で行ってきました。東京駅に集合し、新幹線「はくたか」に乗って、金沢に昼過ぎに到着。やはり、金沢をいえば、「兼六園」。先立ってお隣の金沢城でその雄大さに感動し、曇降る中「兼六園」で日本庭園の美しさにこころ癒され、伝統を守りつつ、歴代の藩主が少しづつ手を加え180年掛けて現在の姿になったという事を知り、再び感動しました。

その後、「ひがし茶屋街」という昔ながらの風情が残る御茶屋さんでお抹茶とお団子に舌づつみ。

夕食は、やはり、海鮮づくしと美食も忘れず堪能しました。

日々、忙しい中で、ほっと一息・歴史の中にタイムスリップ・・・癒しのひと時でした。

素敵な機会・時間をありがとうございました。



グループ病院のご紹介

江東リハビリテーション病院



平成29年
10月オープン
予定

**オープニング
スタッフ募集!**

**総勢200名以上の
新規採用を予定!!**

募集職種

医師・看護師・准看護師・看護補助者・
理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・
放射線技師・臨床検査技師・社会福祉士・
事務

たくさんのご応募お待ちしております!

お問い合わせ先

江東リハビリテーション病院 開設準備室
東京都江東区北砂2-15-27 ハビリス西大島201号室

TEL 03-6880-1555

四季だより

ごんだだ

新春号
2017
VOL. 05

平成29年3月



一般社団法人巨樹の会

五反田リハビリテーション病院
広報委員会

〒141-0031 東京都品川区西五反田8丁目8-20
TEL 03-3779-8820 / FAX 03-3779-8823



- 五反田駅 (JR山手線、都営地下鉄浅草線、東急池上線) 徒歩8分
- 大崎広小路駅 (東急池上線) 徒歩3分
- 大崎駅 (JR山手線、埼京線、りんかい線) 徒歩12分